2021 年度 中間連結決算

コロナ禍の影響を大きく受けた前年からは損益改善

関西エアポート株式会社は、2021 年 4 月から 2021 年 9 月までの第 7 期会計年度中間連結決算において、営業収益は 307 億円、営業損益は 174 億円の損失、経常損益は 221 億円の損失、中間純損益*は 158 億円の損失を計上しました。

今中間期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化により、依然として厳しい状況にあるものの、大きく影響を受けた前年度と比較すると、営業収益は 15%の増加となりました。また、人件費を含む費用の削減を継続して取り組み、営業損益では前期比 50 億円の増益、経常損益では 40 億円の増益、中間純損益では 20 億円の増益となり、損益は改善しました。

（連結損益計算書）

（単位：億円）

	2020.4-2020.9	2021.4-2021.9	増減	%
営業収益	266	307	41	+15%
外部費用	(284)	(269)	16	-6%
EBITDA	(18)	38	57	-
減価償却費	(206)	(213)	(6)	+3%
営業損益	(225)	(174)	50	-
経常損益	(260)	(221)	40	-
中間純損益*	(178)	(158)	20	-

* 「中間純損益」は、「当社株主に帰属する中間純損益」を記載しています。

（航空需要の状況）

新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化により、依然として厳しい状況にあるものの、大きく影響を受けた前年と比較すると、航空需要が増加し、3 空港合わせた航空機発着回数は 9.4 万回、航空旅客数は 501 万人と、前年度と比べそれぞれ 24%増、43%増となりました。国際線につきましては、各国および日本政府の出入国制限が継続したこともあり、国際線旅客数は前年よりも増加するものの限定的でした。国内線につきましては、ワクチン接種率の上昇に伴い、連休を中心に人の移動が徐々に回復したため、3 空港とも前年を上回る結果となりました。また、国際線旅客便運休による貨物スペースのひっ迫により、国際貨物便は増加しました。

	2020.4-2020.9	2021.4-2021.9	増減	増減率
航空機発着回数（万回）	7.6	9.4	1.9	+24%
関西国際空港	2.8	3.3	0.5	+19%
大阪国際空港	3.7	4.7	0.9	+25%
神戸空港	1.0	1.4	0.4	+39%
航空旅客数（万人）	350	502	151	+43%
関西国際空港	88	142	54	+61%
大阪国際空港	220	288	69	+31%
神戸空港	43	72	29	+69%

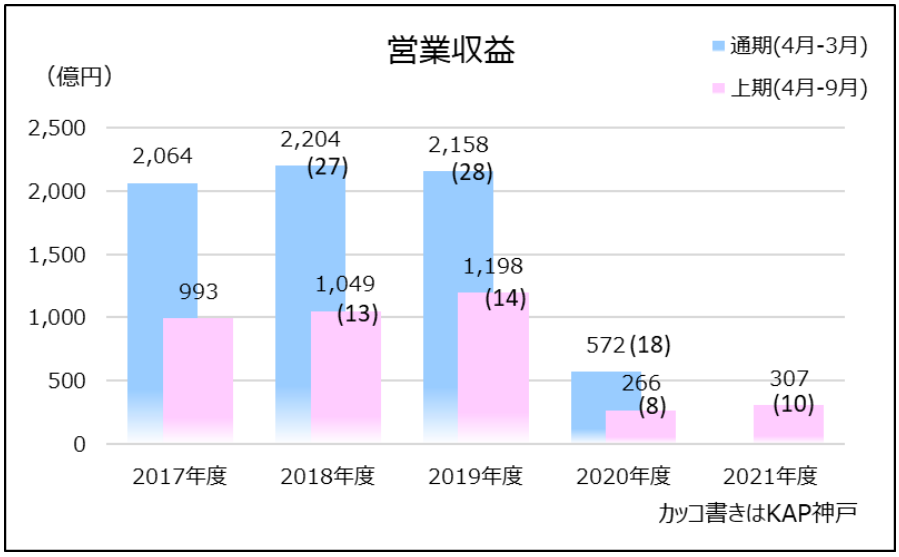
（連結貸借対照表）

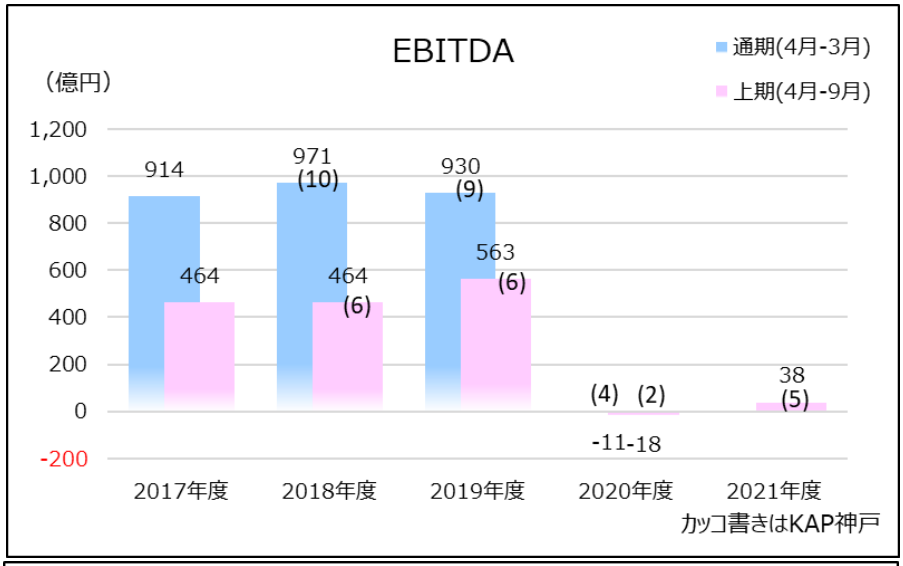
2021 年 9 月 30 日現在における財政状態は、前期末と比べると、公共施設等運営権の減価償却や建設仮勘定の減少により、資産合計は 1 兆 6,388 億円となりました。また、未払金や公共施設等運営権の支払いなどにより、負債が減少した結果、負債合計は 1 兆 5,794 億円となりました。

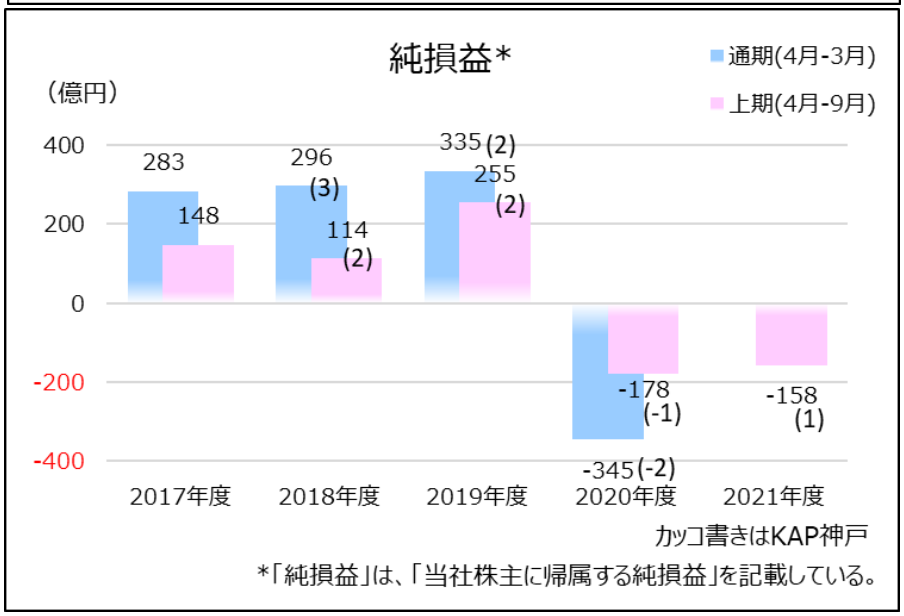
（単位：億円）

	2021.3.31 現在	2021.9.30 現在	増減
流動資産	1,210	1,025	(185)
固定資産	15,649	15,364	(286)
資産合計	16,859	16,388	(471)
流動負債	803	532	(271)
固定負債	15,302	15,262	(40)
負債合計	16,105	15,794	(312)
株主資本	742	584	(158)
その他の包括利益累計額	(5)	(8)	(3)
非支配株主持分	17	18	1
純資産合計	754	595	(159)
負債・純資産合計	16,859	16,388	(471)

（参考資料）連結決算の推移







【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】
関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel：072-455-2201

KANSAI AIRPORTS

連結損益計算書

〔自　2021 年 4 月 1 日
至　2021 年 9 月 30 日〕

（単位: 百万円）

営業収益		**30,696**
営業原価		**42,460**
営業総損失		11,763
販売費及び一般管理費		**5,683**
営業損失		**17,447**
営業外収益		**1,516**
受取利息及び配当金	258	
持分法による投資利益	4	
雇用調整助成金	853	
その他の営業外収益	399	
営業外費用		**6,131**
支払利息	5,991	
支払手数料	85	
その他の営業外費用	54	
経常損失		**22,063**
特別利益		**478**
災害損失引当金戻入額	195	
補助金収入	10	
災害に伴う受取保険金	272	
特別損失		**946**
固定資産除却損	8	
固定資産圧縮損	80	
更新投資に伴う撤去費用	160	
災害による損失	12	
商品評価損等	684	
税金等調整前中間純損失		**22,530**
法人税、住民税及び事業税	355	
法人税等調整額	△ 7,224	
中間純損失		**15,661**
非支配株主に帰属する中間純利益		126
親会社株主に帰属する中間純損失		**15,787**

（記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。）

連結貸借対照表

〔2021年9月30日現在〕

（単位： 百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	**102,476**	**流動負債**	**53,200**
現金及び預金	84,767	買掛金	272
売掛金	5,008	未払金	7,570
契約資産	61	未払費用	3,912
商品	2,716	1年内返済予定の長期借入金	3,931
原材料及び貯蔵品	1,299	1年内支払予定の公共施設等運営権に係る負債	30,055
1年内回収予定の差入保証金	2,197	未払法人税等	2,491
未収金	1,163	契約負債	2,724
その他	5,283	賞与引当金	738
貸倒引当金	△ 21	ポイント引当金	54
		災害損失引当金	―
		その他	1,447
固定資産	**1,536,371**	**固定負債**	**1,526,184**
有形固定資産	**36,008**	社債	4,860
建物及び構築物	3,779	長期借入金	188,134
機械装置及び運搬具	10,552	公共施設等運営権に係る負債	1,267,310
工具器具備品	6,760	特別修繕引当金	49,487
土地	603	災害損失引当金	655
建設仮勘定	14,194	退職給付に係る負債	5,436
その他	118	その他	10,299
無形固定資産	**1,376,309**		
公共施設等運営権	1,330,040		
更新投資に係る資産	44,465	**負債合計**	**1,579,384**
その他	1,803	**純資産の部**	
投資その他の資産	**124,052**	**株主資本**	**58,408**
投資有価証券	1,177	資本金	25,000
退職給付に係る資産	328	資本剰余金	25,000
差入保証金	91,697	利益剰余金	8,408
繰延税金資産	30,738	**その他の包括利益累計額**	**△ 786**
その他	362	繰延ヘッジ損益	△ 786
貸倒引当金	△ 251	**非支配株主持分**	**1,840**
		純資産合計	**59,462**
資産合計	**1,638,847**	**負債・純資産合計**	**1,638,847**

（記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。）

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% [1]
代表者	代表取締役社長　CEO　　山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO　ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長　CEO　　山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO　ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		

ORIX

オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界 37 ヵ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

VINCI AIRPORTS

世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46 空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約 250 社の航空会社が就航し、2018 年の旅客者数は 2 億 4,000 万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018 年の連結売上高は 16 億ユーロ、グループ全体の売上高は 36 億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

[1] 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱ＵＦＪ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2021年度 中間連結決算

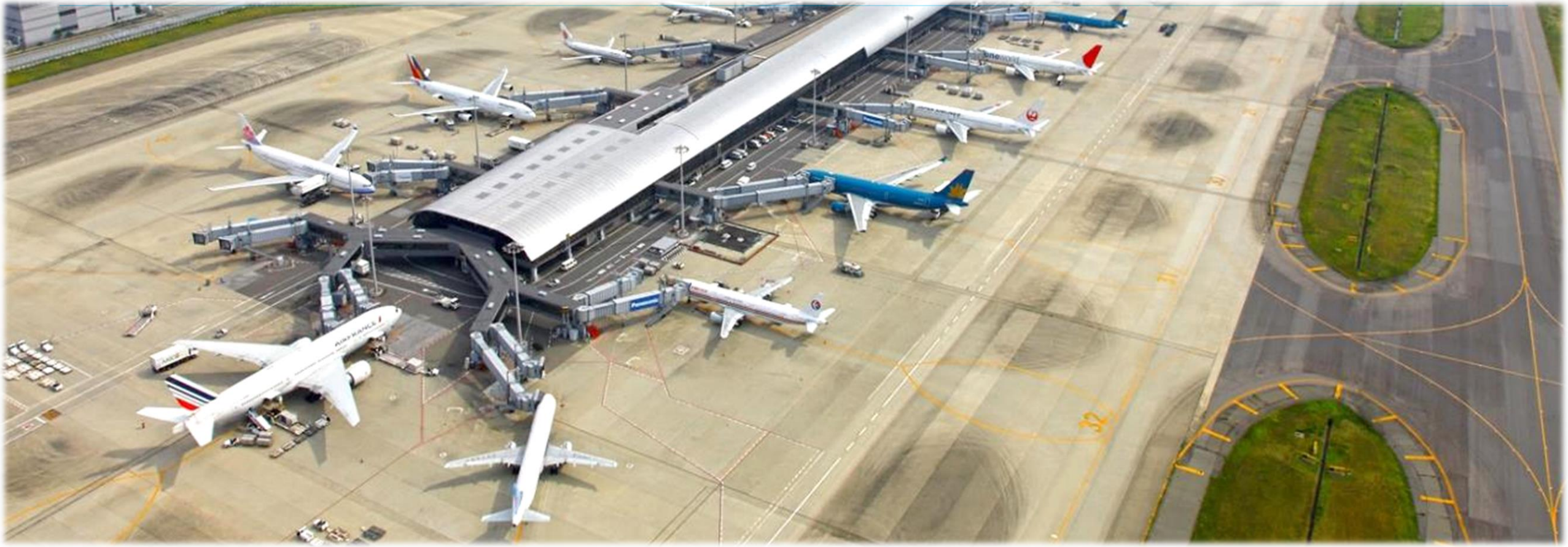
2021.12.15

Shaping a New Journey

KANSAI AIRPORTS

アジェンダ

- 2021年度　中間連結決算の概要
- 営業収益分析
- 2021年度の取り組み



2021年度　中間連結決算の概要

コロナ禍の影響を大きく受けた前年からは損益改善

1．新型コロナウイルス感染拡大の長期化により依然として厳しい状況にあるものの、大きく影響を受けた前年と比較すると、航空需要は増加。

2．発着回数・旅客数の増加を受け、前年と比べ増収。

3．人件費を含む費用の削減に継続して取り組み、前年からは損益改善。

【単位：億円】

	2020.4-2020.9	2021.4-2021.9	増減	%
営業収益	266	**307**	+41	+15%
EBITDA	(18)	**38**	+57	-
営業損益	(225)	**(174)**	+50	-
経常損益	(260)	**(221)**	+40	-
中間純損益*	(178)	**(158)**	+20	-

＊「中間純損益」は、「当社株主に帰属する中間純損益」を記載

経営成績

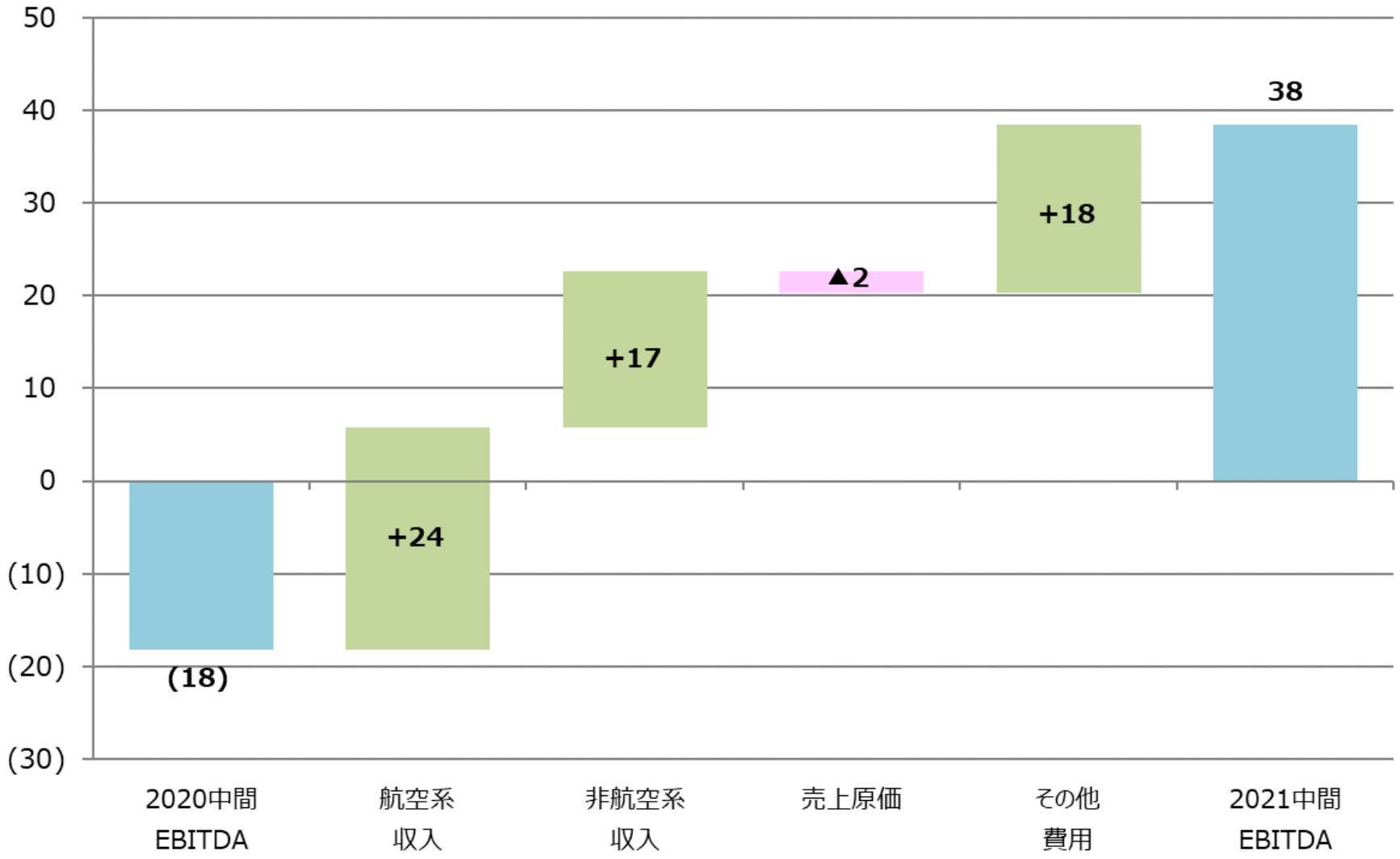
【単位：億円】

	2020.4-2020.9	2021.4-2021.9	差額	%	うち 台風影響額
営業収益	266	307	41	+15%	
航空系	95	119	24	+25%	
非航空系	171	188	17	+10%	
営業費用（減価償却費除く）	(284)	(269)	16	-6%	
EBITDA	(18)	38	57	-	
減価償却費	(206)	(213)	(6)	+3%	
営業損益	(225)	(174)	50	-	
営業外損益	(36)	(46)	(10)	-	
経常損益	(260)	(221)	40	-	
特別損益	6	(5)	(10)	-	(18)
法人税等、非支配株主帰属損益	77	67	(9)	-	5
中間純損益*	(178)	(158)	20	-	(12)

＊「中間純損益」は、「当社株主に帰属する中間純損益」を記載

EBITDA（前年比）

【単位：億円】



バランスシート

【単位：億円】

公共施設等
運営権等

公共施設等
運営権に係る負債等

	2021.3.31現在	2021.9.30現在	増減
流動資産	1,210	1,025	(185)
うち 現金及び預金	928	848	(80)
固定資産	15,649	15,364	(286)
資産合計	16,859	16,388	(471)
流動負債	803	532	(271)
固定負債	15,302	15,262	(40)
負債合計	16,105	15,794	(312)
株主資本	742	584	(158)
その他の包括利益累計額	(5)	(8)	(3)
非支配株主持分	17	18	1
純資産合計	754	595	(159)
負債・純資産合計	16,859	16,388	(471)
【参考】			
有利子負債残高	1,869	1,969	101

営業収益分析

【航空系】発着回数・旅客数ともに前年を上回ったものの、回復は限定的

✈ **発着回数・旅客数**
COVID-19パンデミック発生直後の前年との比較では、３空港合計の発着回数は24%増、旅客数は43%増。ただし、COVID-19発生前との比較では、回復は限定的。

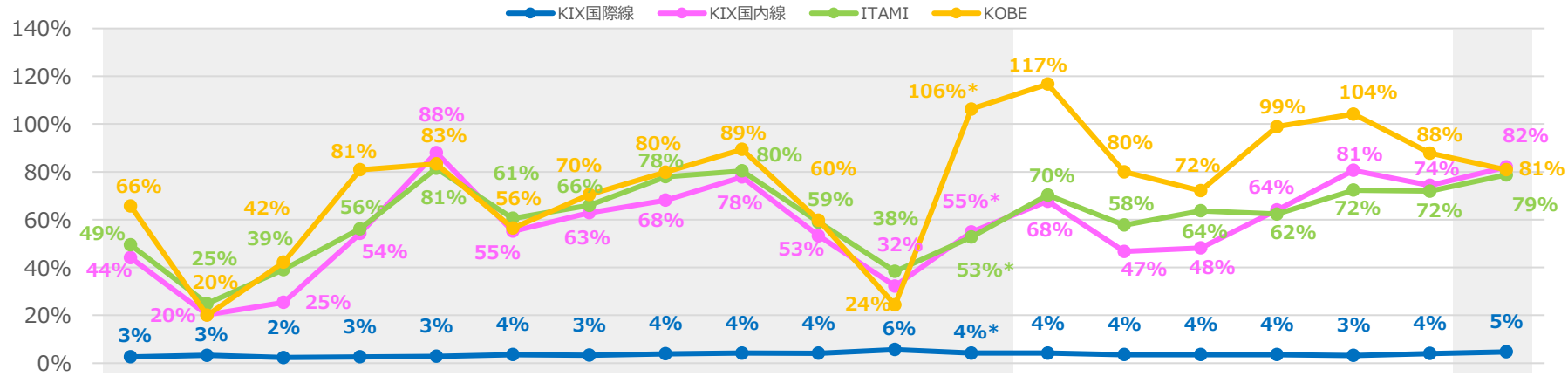
✈ **国際旅客便・国際貨物便**
上期中、入国制限が継続し、旅客便の運航便数・旅客数ともに大きな回復には至らず。一方、国際貨物便は、旅客便の減小に伴う貨物輸送スペースの不足を補うため増加し、過去最高便数を記録。

✈ **3空港国内旅客便**
相次ぐ感染波の到来と緊急事態宣言の発令により、航空旅客需要の本格的な回復には至らず。前年同期比では、ワクチン接種率の上昇に伴い連休を中心に人の移動が徐々に回復し、 3空港とも運航便数・旅客数ともに増加。

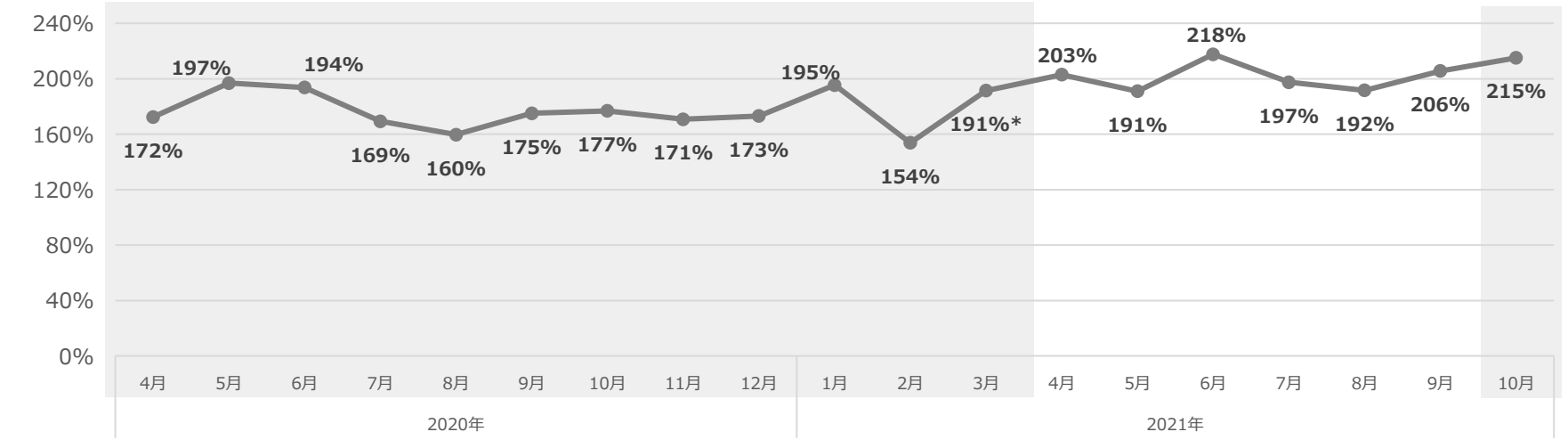
	2019年度上期	2020年度上期	2021年度上期	前年差	前年比
発着回数（万回）	**19.1**	**7.6**	**9.4**	**1.9**	**+24%**
関西国際空港	10.6	2.8	3.3	0.5	+19%
大阪国際空港	7.0	3.7	4.7	0.9	+25%
神戸空港	1.6	1.0	1.4	0.4	+39%
航空旅客数（万人）	**2,644**	**350**	**502**	**151**	**+43%**
関西国際空港	1,635	88	142	54	+61%
国際線	1,276	6	12	6	+89%
日本人旅客	398	2	5	3	+106%
外国人旅客	867	4	6	3	+75%
国内線	359	82	130	48	+59%
大阪国際空港	839	220	288	69	+31%
神戸空港	170	43	72	29	+69%

【航空系】関西3空港 発着回数（2019年度比）

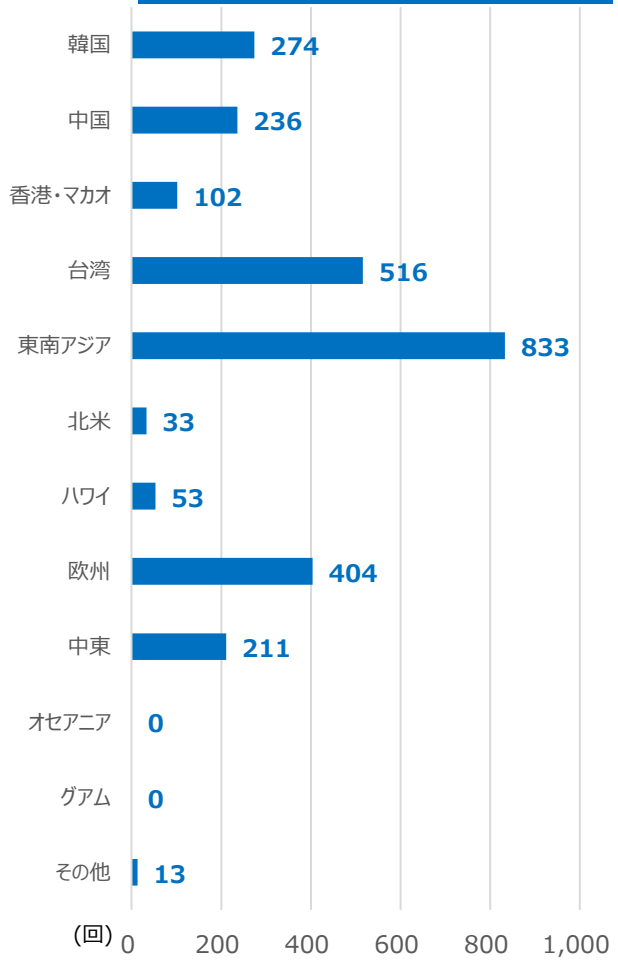
旅客便　2020年4月－2021年10月



国際貨物便 2020年4月－2021年10月



国際旅客便　方面別発着回数
2021年4月－9月　合計

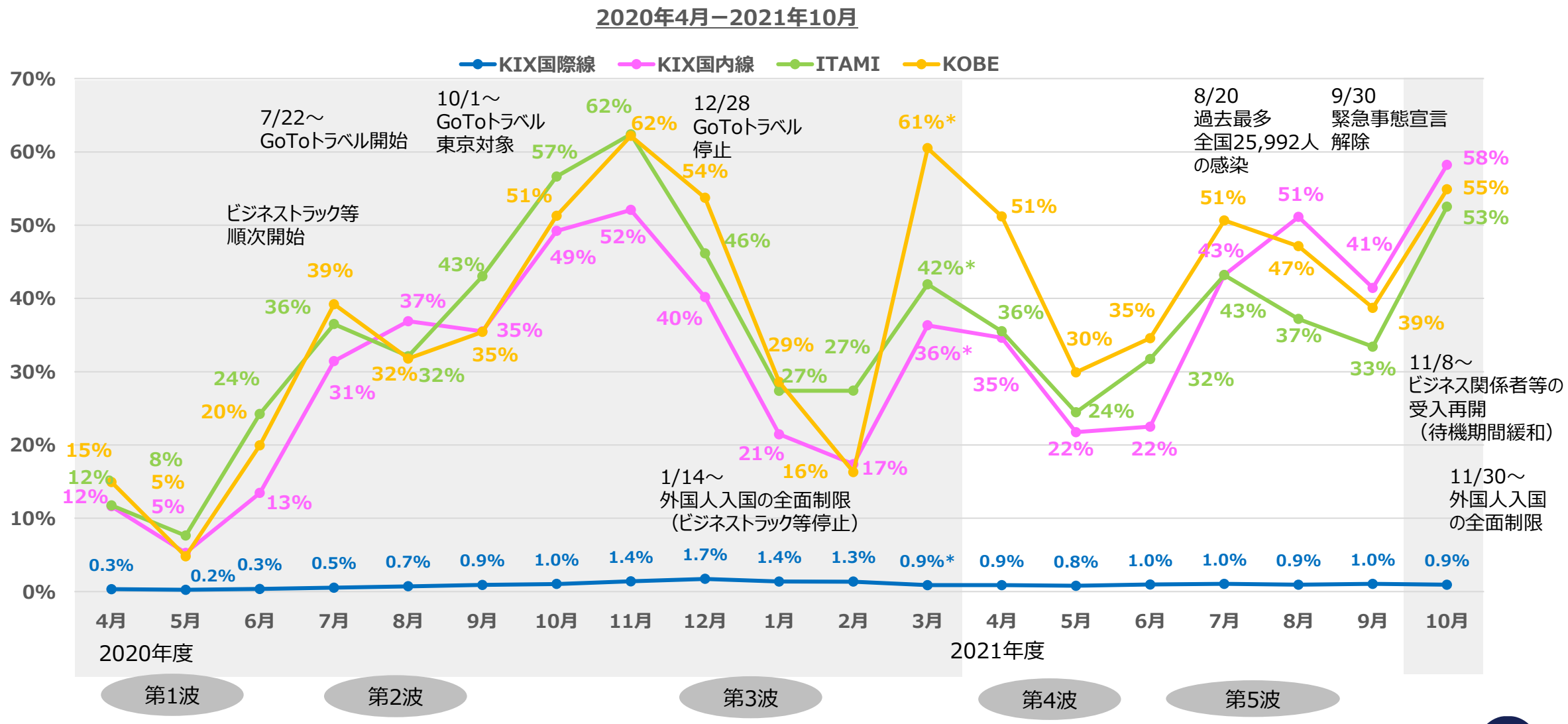


KANSAI AIRPORTS

* 2020年3月はすでに新型コロナウイルスによる影響を受けていたため、2021年3月は2018年度比（2019年3月比）で記載

**国際旅客便には、貨物輸送を目的とする運航が一部含まれる

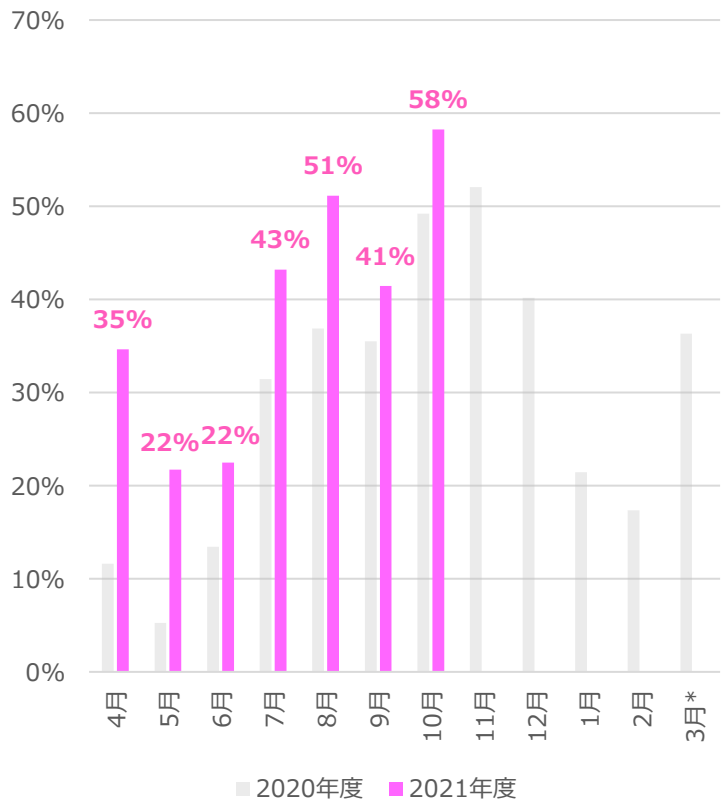
【航空系】関西3空港　旅客数（2019年度比）



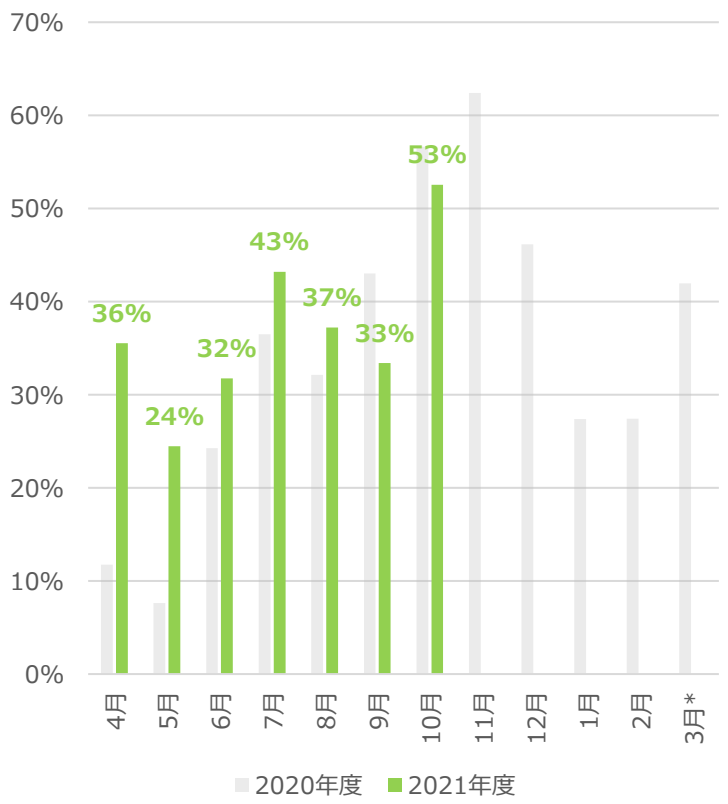
*2020年3月はすでに新型コロナウイルスによる影響を受けていたため、2021年3月は2018年度比（2019年3月比）で記載

【航空系】関西3空港　国内線旅客数（2019年度比）

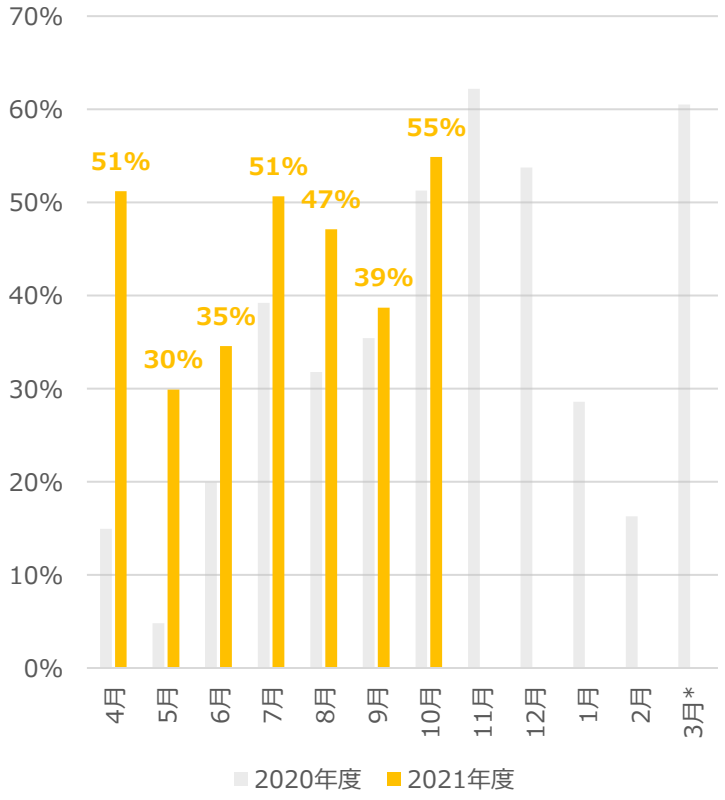
KIX



ITAMI



KOBE



*2019年度（2020年）3月はすでに新型コロナウイルスによる影響を受けていたため、2020年度3月は2018年度比（2019年3月比）で記載

【航空系】直近のネットワーク拡大

国際線

航空会社	地点	期間	内容
フィンエアー	ヘルシンキ	10月2日	週3便で運航再開
		冬期中	週7便まで段階的に増便
タイ国際航空	バンコク(スワンナプーム)	冬期開始時	週2 → 5便
エミレーツ航空	ドバイ	11月3日	週4 → 5便

国内線

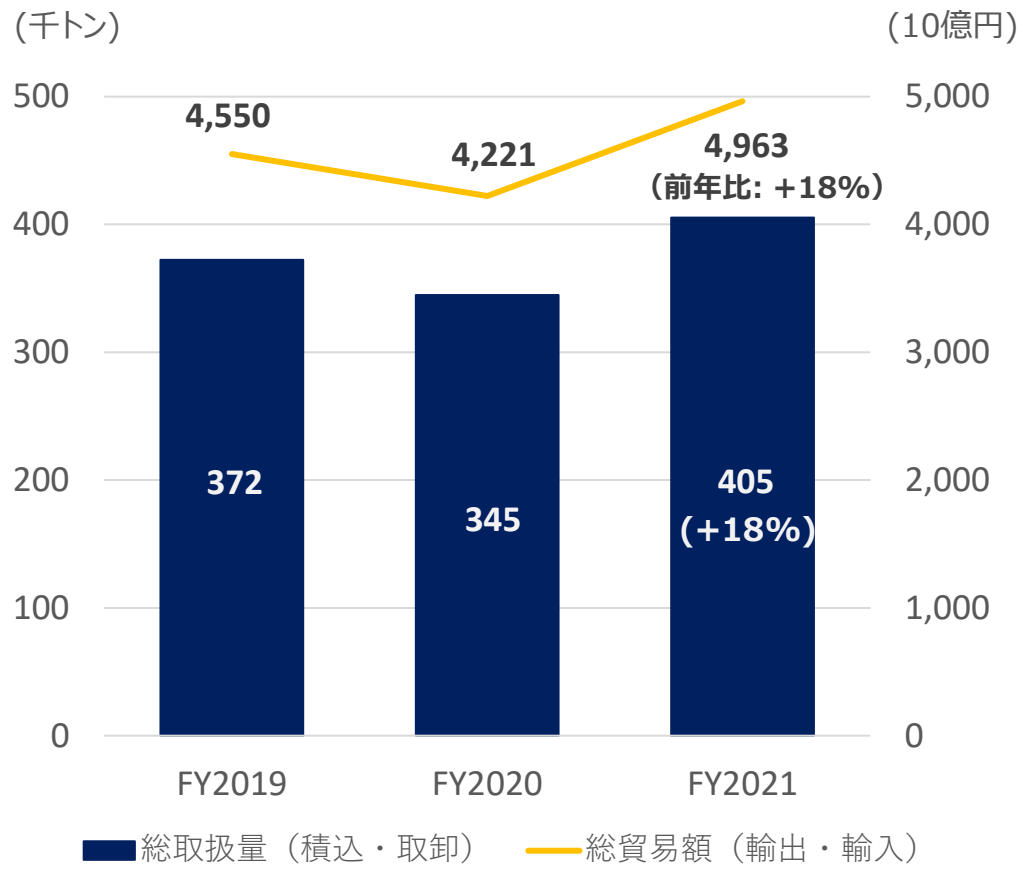
フジドリームエアラインズ
2021/3/28 神戸＝花巻就航
2021/8/27 神戸＝松本
ダブルデイリー化

日本トランスオーシャン航空
2021/4/29 関西＝宮古

Peach
2021/7/1 関西＝女満別
8月･9月はコロナ前2019年を
上回る便数を運航

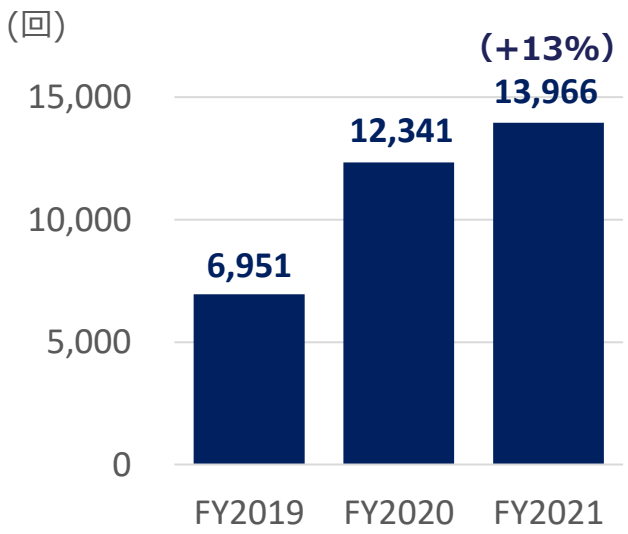
【国際貨物】発着回数・貨物量・貿易額

KIX/貨物量・貿易額（年度上期推移）

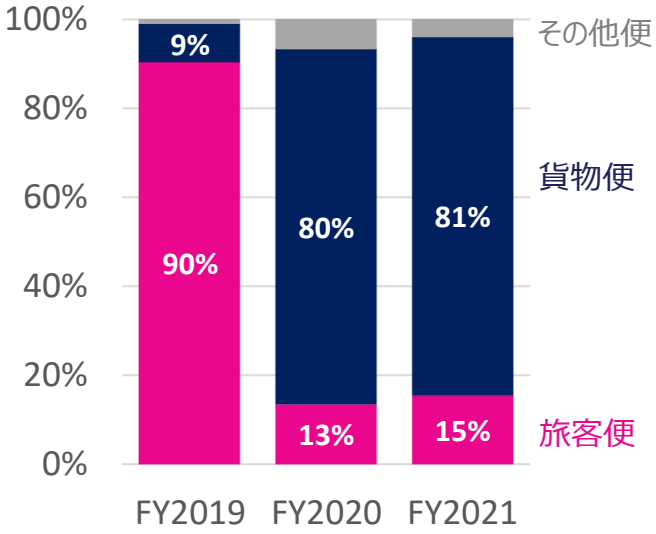


- 旅客便運休による貨物輸送力確保のため、昨年度に引き続き貨物便・旅客機利用の貨物便の発着回数が高水準となっており、年度上期の発着回数としては過去最高を記録した。
- コロナ禍でも好調なEコマースや、海上輸送の混乱による航空輸送への振替、ワクチンを含めた医薬品の輸送等により、貨物量・貿易額も昨年度および2019年度を上回った。

KIX/貨物便発着回数（年度上期）



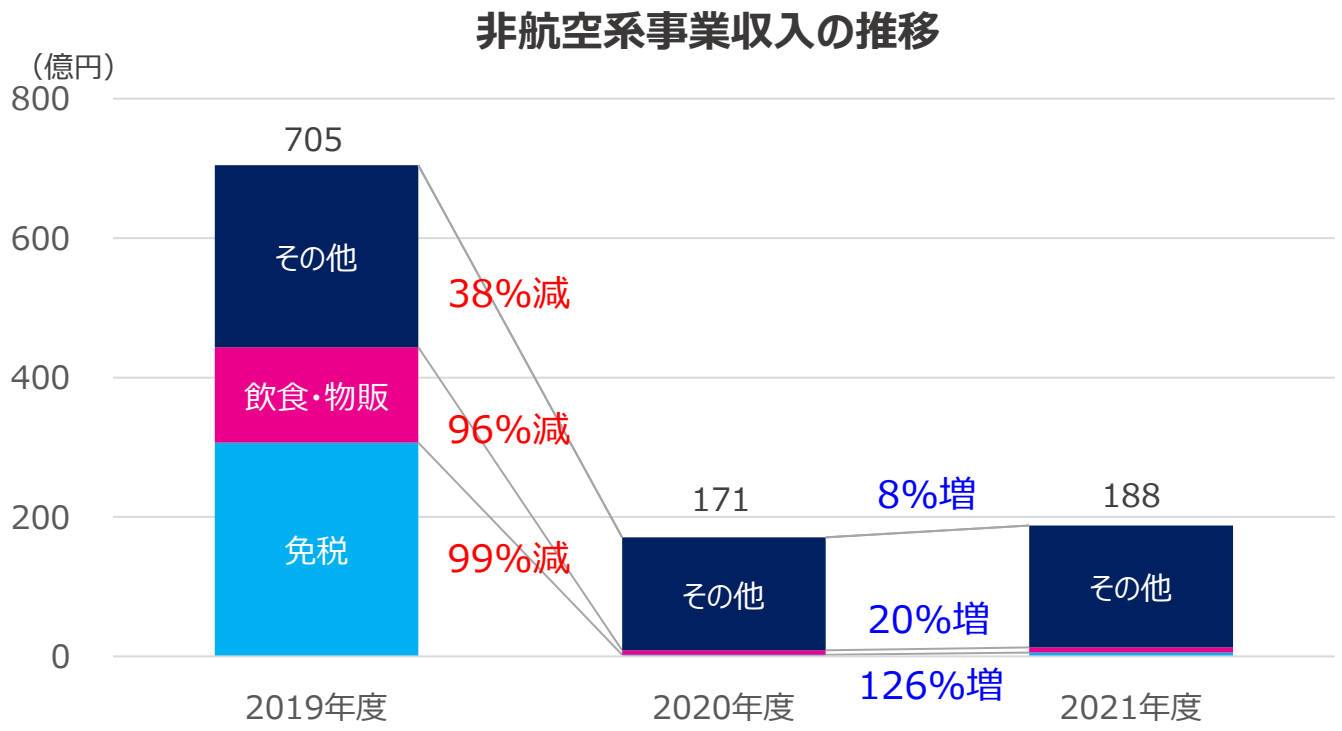
KIX/国際線発着回数シェア（年度上期）



*貿易額（税関発表）：2021年9月は速報値、2021年8月は輸出確報値、輸入9桁速報値
その他の2021年各月分は確報値、2020年は確々報値、2019年以前は確定値

【非航空系】新型コロナウイルスの影響が継続するも上期収入は前年比微増

- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、航空旅客数の大幅減少により非航空系事業収入は引き続き厳しい状況が続くものの、前年比は+17億円(+10%)と微増。
- 航空旅客数や顧客ニーズの変動を捉え、感染症対策を徹底しながら店舗の営業支援や利用促進に努めた。



＊ その他：不動産関連収入、構内営業料収入、ホテル収入など
＊ 免税・物販・飲食は直営店舗収入

2021年度上期の取り組み

2021年度上期の主な取り組み

3空港

- 「夢の関西ダービー実現!! 熱戦!! バファローズ タイガース」（9/1～）
- 3空港で2021「空の日」リレーメッセージ動画配信（9/20～30）

KIX

- 24時間営業カフェラウンジがオープン（4/30）
- T1リノベーションの安全祈願祭・起工式を実施（5/28）
- 神戸大学と「T2スマート空調実証試験」を開始（6/30）
- PCR検査センターがオープン（9/22）

ITAMI

- 関西エアポート×ジェイエア「ITAMI空の市」を開催（4/4、7/22）
- 「新型コロナ PCR 検査センター」がオープン（7/14）
- 京都水族館コラボお買い物キャンペーンを開催（7/24～）

KOBE

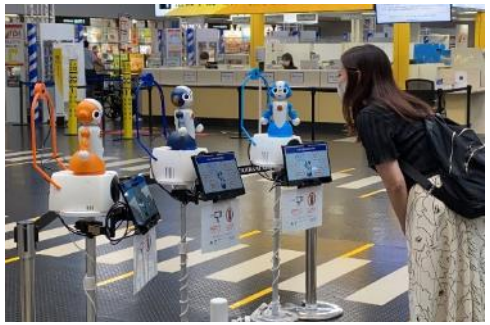
- コミュニティ型図書館「まちライブラリー@神戸空港」を開設（7/1）
- 夏休み・早朝親子滑走路ウォークを開催（7/24）
- ポップアップショップ「神戸空港 SORAマーケット」を開催（7/30～）
- ロボット接客の実証実験を実施（9/17～）

24時間営業カフェラウンジ（KIX）

T1リノベーション安全祈願祭・起工式（KIX）

新型コロナPCR検査センター（ITAMI）

ITAMI空の市（ITAMI）


ロボット接客の実証実験（KOBE）

滑走路ウォーク（KOBE）